

科目名	基礎情報処理 Computer Literacy	科目コード	21180
-----	-----------------------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・1年
担当教員	樺澤 辰也・新任教員（電気電子システム工学科）
区分・単位数	必修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義26，演習26，実験0，その他8】
教科書	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ICT基礎教育研究会，ネットワーク社会における情報の活用と技術，実教出版，2006</li> <li>● 長岡高専・情報処理共通化ワーキンググループ，平成25年度情報処理共通テキスト，長岡高専，2013</li> </ul>
補助教材	別途資料を配付
参考書	

#### 【A. 科目の概要と関連性】

情報化社会と呼ばれる今日，情報や情報機器を正しく使えることは，技術者として必須事項である。本科目では，本校のコンピュータ及び情報ネットワークの利用を通じて，コンピュータによる情報の収集・活用・管理の基礎について学習する。

○関連する科目： プログラミング（次年度履修）

#### 【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(D)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
① 本校の情報ネットワークの利用方法を習得する。	10%	(d1)
② 情報を操作する上での注意点について理解し，実践出来るようにする。	40%	(c1)
③ 文書作成・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトの基礎的な利用方法を習得する。	50%	(e1)

#### 【C. 履修上の注意】

技術者としてコンピュータは必須の道具となる。コンピュータに使われないように，苦手意識を持たず積極的に実習に取り組んで下さい。また，道具として使いこなす事だけでなく，情報ネットワークにおけるマナーやエチケットを十分理解し，それを実践出来るようにして頂きたい。

#### 【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。50点以上を合格とする。

- 定期試験（80%）【内訳：前期中間 20, 前期末 20, 後期中間 20, 後期末 20】
- その他（20%）【授業への取り組み態度 10, プレゼンテーション 10】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

回	内容	備考
1	長岡高専計算機システム概説, 情報の概念	
2	Windows の基本操作	
3	インターネットのしくみ, ルール, マナー	
4	電子メールのしくみ, ルール, マナー	
5	情報の収集・整理(1)	
6	情報の収集・整理(2)	
7	情報の収集・整理(3)	
8	前期中間試験	
9	情報の発信・交換と評価	
10	情報の収集・整理・加工・表現(1)	
11	情報の収集・整理・加工・表現(2)	
12	情報の収集・整理・加工・表現(3)	
13	情報の収集・整理・加工・表現(4)	
14	演習 2 報告書の作成	
—	前期末試験	試験時間 : 50 分
15	試験解説と発展授業	

● 後期

回	内容	備考
1	問題解決の方法論	
2	コンピュータの仕組み	
3	情報通信ネットワーク	
4	情報のデジタル表現(1)	
5	情報のデジタル表現(2)	
6	演習 3 デジタル情報	
7	コンピュータ上の問題解決	
8	後期中間試験	
9	演習 4 データの解析・処理	
10	演習 5 データの解析・処理	
11	情報の管理とセキュリティを守る技術	
12	演習 6 プレゼンテーション資料の作成	
13	演習 7 プレゼンテーション資料の作成	
14	演習 8 プレゼンテーション (学習発表会)	
—	後期末試験	試験時間 : 50 分
15	試験解説と発展授業	